

2008年5月16日

会員各位

電気鍍金研究会研究報告会および重点研究事業第3回報告会のご案内
「環境調和型めっき技術 表面技術におけるマテリアル・イノベーション」

電気鍍金研究会
表面技術協会関西支部
表面技術協会ウエットプロセス研究部会

電気鍍金研究会では創立50周年記念事業の一環として、重点研究事業を設立いたしました。今回、電気鍍金研究会研究報告会および重点研究事業第3回報告会を開催することになりました。「環境調和型めっき技術 - 表面技術におけるマテリアル・イノベーション -」をテーマとして、ニッケルめっきおよびクロメート処理の代替技術、めっきプロセスの環境適合化等に関する重要課題を平易に解説いたしますので、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時：平成20年7月23日(水) 13:00~17:10

会場：大阪鍍金会館(大阪市東成区中道3-1-14 TEL 06-4259-6890) JR環状線「玉造駅」下車徒歩5分

参加費：会員3,000円、学生1,000円、非会員6,000円(いずれもテキスト代含)

申込方法：参加希望者は、別紙申込書に必要事項を明記の上、7月7日(月)までに下記宛にお申し込み下さい。
尚、参加費は当日徴収致します。

申込先：〒537-0025 大阪市東成区中道3-1-14 大阪鍍金会館内
電気鍍金研究会事務局 TEL/FAX 06-4259-6890

定員：90名(先着順)

研究報告会・プログラム

1. 環境調和型スペキュラム(CuSn)合金めっき技術の開発

(13:05~14:00)

京都市産業技術研究所工業技術センター 中村俊博、水谷 泰、永山富男、甲南大学理工学部 縄舟秀美

ニッケルはアレルギー疾患の原因となるとともに価格高騰が著しいことから、代替ニッケルめっきプロセスが要望されている。本講演では、環境調和型非シアン浴からのスペキュラム(CuSn)合金めっきの皮膜特性および開発の現状について報告する。

2. Snめっきからのウイスカ成長とPbの抑制機構

(14:05~15:00)

岡山県工業技術センター 日野 実、村上浩二、オーエム産業(株) 高見沢政男

Snめっきからのウイスカ発生は、ダウンサイジングされた電子デバイスへの適用に大きな障害となっている。ウイスカ成長に関する詳細は不明な点も多い。本講演では、Sn-Pbめっきにおいてウイスカの成長が抑制される機構を紹介する。

休憩(15:00~15:15)

3. バナジン酸塩およびタングステン酸塩を用いたクロメート代替化成皮膜の成膜条件と膜構造

(15:15~16:10)

大阪市立工業研究所 川舟功朗

クロメート代替物質としてバナジン酸塩やタングステン酸塩を用いて、亜鉛めっき鋼板に対する耐食性の高い化成皮膜の形成方法を開発した。本講演では、最適な化成処理条件を紹介するとともに、化成皮膜の膜構造を検討した結果を紹介する。

4. 過マンガン酸エッチングによるプラスチックめっき技術

(16:15~17:10)

奥野製薬工業(株) 吉川純二、吉兼祐介、長尾敏光、大阪市立工業研究所 小林靖之、藤原 裕

プラスチックめっきの前処理として、有害な六価クロムを含有するクロム酸エッチング浴が従来から用いられてきた。本講演では、低濃度の過マンガン酸塩を酸性で用いた、環境負荷の少ないプラスチックめっきの前処理法を紹介する。

F A X 送 信 票

平成 20 年 月 日

電気鍍金研究会 事務局 御中 (F A X : 06-4259-6890)

電気鍍金研究会 研究報告会および重点研究事業第 3 回報告会

「環境調和型めっき技術 - 表面技術におけるマテリアル・イノベーション - 」

参加申し込み

氏 名 _____

企業名・所属 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

会員資格 (該当するものを全てチェックして下さい)

電気鍍金研究会

表面技術協会

学生

会員外

